

2015年9月19日

## 戦争法の採決強行に抗議し、 憲法9条を守り海外で戦争する国にさせない決意を表明する

生活協同組合ヘルスコープおおさか  
理事会

9月17日の参議院平和安全法制特別委員会に続き、19日未明には参議院本会議で戦争法案が強行採決され可決成立しました。

法案提出から4カ月、参院で2カ月、審議すればするほど憲法違反であることが明白になりました。安倍首相自身が集団的自衛権の行使を容認する立法事実さえ説明できなくなり、自衛隊の統合幕僚監部の内部文書などで法案を先取りした軍の暴走が明らかになるなど、アメリカと一緒に戦争を行う危険な法案であることが明らかとなりました。

それにもかかわらず、強引にその成立をめざす政府の姿勢に対して全国で抗議の声が沸き起こり、法案制定に反対する市民の声はかつてない規模となりました。憲法学者や法曹界の専門家が、本法案が憲法違反であることを表明し、青年・学生や子育てママ、文化人など幅広い層のひとびとがかつてない規模で反対の行動に立ち上がりました。

今回の暴挙は、これらの多数の世論を無視して政府与党等が数の力に任せて暴力的な採決を強行したものであり、民主主義国家として許されず、日本の憲政史上に汚点を残す事態です。こうした事態を引き起こした安倍内閣の責任は重大で、政権を担う資格が無いことは明らかです。

生活協同組合ヘルスコープおおさかは、平和といのちをまもる立場から戦争法の目的・内容と今回の過程すべてに満身の怒りを込めて抗議をします。そして、以下の活動にとりくんで、憲法9条を守り海外で戦争する国にさせない決意とするものです。

- 一、戦争法採決強行に抗議し、施行許すなとの世論を高めるため、戦争法の狙い、危険性等について学び、知らせる活動を継続・強化します。
- 一、平和憲法を守る運動に創意工夫あふれる取り組みをすすめます。
- 一、広範な団体やひとびとと一緒に、平和をまもる運動にとりくみます。

以上